



高槻ロータリークラブ
2021~2022
WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるかどうか

事務所 〒569-1116 高槻市白梅町 4-1 高槻阪急 6 階
TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174
URL <http://www.takatsukirc.org/>
E-mail takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 (9/15 は 12:30~13:15)

例会場 高槻阪急 6 階 多目的ホール TEL 072-684-5379

創立 1954 年 6 月 15 日

会長 羽根田茂子 幹事 河合一人 クラブ運営委員長 浦中郁文 会報担当副委員長 浜田哲也

No.10 2021 年 9 月 15 日 発行

9 月は基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間

第 3245 回 本日 (9/15) の例会

- ◎ ソング・・・それでこそロータリー
- ◎ 卓話 三井 泰之君
「 私の履歴書 」
- ◎ 例会後の行事
地区大会準備委員会
青少年育成基金特別委員会

※9/22(水) 定款による休会

第 3246 回 次々週 (9/29) の例会

- ◎ ソング・・・それでこそロータリー
- ◎ 卓話 浜田 厚男君
「 インターアクト年次大会について 」

先週 (9/8) の例会から

◎ゲスト・ビジター 計 0 名

◎出席報告

・第 2 回定例理事会の決議により、緊急事態宣言等の発令期間中は、例会への出席義務を免除としております。これは、感染拡大防止の観点から不要不急の外出の自粛要請及び会員の健康安全の措置として補足するものです。従って、9/8(水)例会出席率は 100%となります。

会員数	出席者数	出席率
50 名	32 名	100 %
前々回例会補正後出席率		100 %
但し、Mup 0 名		欠席者 0 名
出席規定適用免除有資格者		4 名

◎8 月度皆出席表彰

清水 利男君	通算 22 年
石田 佳弘君	通算 9 年
河合 一人君	通算 9 年
赤羽 卓君	連続 1 年

◎会長の時間

一向に沈静の見通しが見えない新型コロナの流行の中、生活様式がずいぶん変わりました。大手企業では、出社をしないで自宅で仕事をする社員が新しい仕事の様式として、テレビ、新聞で取り上げられています。住宅機材のリクシルでは 9 割の社員が出社しないで自宅で仕事をしていると言います。スーツを着て電車にゆられて通勤をするという昨日までのスタイルがもう時代遅れのように報道されています。

私は朝、出勤してきた従業員の顔を見てその日の体調とか、朝、家でなんかあったんじゃないかとか感じて気を配っていますが、もうそんなことは関係ないドライな労使関係の時代がきたと言えるでしょう。

コロナ禍で大きく劇的に変わった環境の変化についていけず、戸惑いを感じていましたがそれも長引き先の計画ができない日常に苛立ちさえ感じます。

警察庁が公表した統計によりますと 2020 年の自殺者数は 2 万 1, 077 人で、男性は前年度より 26 人減少して 1 万 4, 052 人でしたが逆に女性は 934 人も増加して 7, 025 人となりました。そして増加の割合をみますと 8 月では前年度比 42.2 パーセント増そして 10 月にはなんと 82.6 パーセント増になりました。コロナ禍でなければ考えられない数字です。女性の自殺者が増加している原因として経済状況の悪化、在宅時間の増加による家族関係のトラブル、社会に蔓延する閉塞感、平常と違った生活への不適合、感染に対する恐怖感などの原因が思い当たります。

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

シェカール・メータ RI 会長

経済状況の悪化は特に母子家庭を直撃しています。日本の社会では、女性がいくら働いても報われない、一人で生計を営むのは困難な現実があります。男女間の収入の格差とか働き方の問題一朝一夕には解決できる問題ではありませんが、コロナ禍における女性の自殺は政治の力で救うことが可能です。そんな中、コロナ対策に選任すると言って総理が突然辞任して驚きました。政界の事情は複雑ですが総理が変わりましてもコロナ対策は重点的にしてほしいものです。

母子家庭の支援の問題は井前直前会長が高槻ロータリークラブで何とかできないかと言いつけてこられました。政治に頼るだけではなく私たちも関心を持ち続けることが大切かと思えます。

◎幹事報告

・9月ロータリーレート 1ドル：110円

◎委員会報告

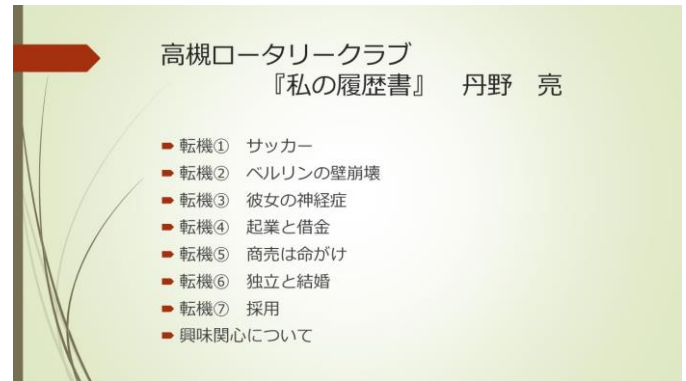
・本日はございません。

◎西田会員より

・本日皆様に資料をお渡しさせていただいておりますが、NPO 法人高槻ユースオーケストラの高木様からご相談がございましたので、高槻 RC へ提案させて頂きました。この方には、羽根田会長、河合幹事にもお世話いただき、先週の理事会で会員の皆様から助成金を募ることで承認いただいております。本日の例会に高木様に来て頂きご説明いただこうと思っておりましたが、諸般の事情で来られなくなりましたので、私がお説明させて頂きます。音楽は、人間の心を揺るがす大きな力を持っており、文章や言葉と同じように、傷ついた心に語り掛けて癒すこともできます。音楽表現に必要な知識や技術だけを身につけるのではなく、美しい音色で豊かな心を育み、様々な音や異年齢な仲間を受け入れ、感じ取り、そして、自ら創造する感性を育み、豊かな個性を引き出します。NPO 法人高槻ユースオーケストラは、音楽に対する青少年の期待と憧れ、新しい発見、出会いになることを願い令和元年設立に至りました。高槻市教育委員会の協力のもと、高槻市立松原小学校音楽室を練習場所として、毎週土曜日に高槻市在住の第一期生 10 名が練習に励んでおります。コロナ禍により、昨年度計画していました演奏会は中止や延期を余儀なくされました。新規団員募集や演奏会の会場の確保も困難をいたしています。本年度は、高槻市出身の指揮者 横島 勝人氏(別紙参照)に、ご自身が来阪の際無報酬でご指導を賜ることとなりました。そして、今年度の集大成として、来年3月に高槻市生涯学習センター 多目的ホールで高槻ジュニアバンドとの合同定期演奏会を予定しております。5年後の目標として、団員を20名程度まで増やし、管楽器も含めたオーケストラの活動ができることを目指しています。そのための活動や費用を支える正会員の増強が必要と考えています。また、当オーケストラは音楽活動を通じて「青少年の健全育成」を主たる目的としています。その趣旨から、裕福な家庭の団員ばかりではなく、経済的にも厳しい家庭の団員も参加できるよう無償で楽器を貸与することとしています。日常の活動費用だけでなく楽器の購入にも苦慮をいたしています。高槻市に多大なご尽力を重ねてこられたロータリークラブの皆様方に、NPO 法人高槻ユースオーケストラの設立趣旨と現状をご理解いただき、当オーケストラが高槻市にしっかりと根付くようご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。回覧を回しますので、皆様のお力添えを何卒よろしくお願い申し上げます。

◎卓話 「 私の履歴書 」

丹野 亮



このたび入会させて頂いた丹野亮と申します。本日は貴重なお時間を頂きありがとうございます。お聞き苦しい点もあろうかと思いますがどうぞ宜しくお願い致します。

1 転機①サッカー

昭和48年：第一次オイルショックの年に茨城県取手市で生まれました。父は不動産会社勤務(後に独立開業)、母はパート勤務、2歳年上の姉という家族構成です。団塊ジュニアとかロスジェネレーションと呼ばれる世代です。同年齢が非常に多く、幼稚園から大学受験まで過酷な競争が続き、社会に出るころにはバブル崩壊、就職氷河期、失われた10年いや20年という世代です。1歳の時、父の仕事の都合で栃木県宇都宮市に引越し、以後18歳までここで過ごしました。一族の出は日本三景と言われる宮城県松島町です。遠くでなかなか墓参りに行けないことが悩みです。家族や親戚には愛情深く育てていただきました。感謝しかありません。

幼少期は体が弱くおっとりとした少年でした。小学校3年生のとき体を鍛える目的でサッカーを始めました。当時のサッカーは今よりもマイナーなスポーツでした。しかしその次の年、「キャプテン翼」という漫画が大流行しました。学校中の活発な男子が皆サッカー部に入りました。少数だった部員は100名を超えました。中学でも高校でも常に100名はいたと思います。そんななか、人より1年早くサッカーを始めたため少しだけ上手でした。その後キャプテンになり、サッカーも上達し、自信家の鼻もちならないタイプの人間に成長していきました。今でも根拠のない自信で突っ走ることがあるのはこのせいです。中学も高校もサッカーが生活の中心にあり、自分のアイデンティティそのものでした。

2 転機②ベルリンの壁崩壊

高校生になり、サッカーだけにとどまらず夜はバンドを組んでベースを弾き、友人とカラオケで騒ぎ、女子とデートするという楽しい毎日が続きました。勉強や将来についてなど考えたこともありませんでした。そんなある日、サッカー部の合宿中にテレビで流れた光景に目を奪われました。東西ドイツの国民がそれぞれあの「ベルリンの壁」にピッケルを打ち込んでいるのです。子供の頃からの常識であった「東西冷戦」が壊れようとしております。米国の敵はソ連、そんな常識が壊れようとしております。とてもショックでした。テレビの前で釘付けになり、「俺はなんでこんなところでタマを蹴っているんだろう」とはじめて己をかえりみた瞬間でした。その後、さまざまな本を読み漁りました。漫画以外の本をちゃんと読んだのはこの時が初めてでした。世界が大変ななか自分にできる最大限のこととは何だろう、五体満足で生まれてきた以上、最大限の社会貢献をする責務があ

るのではないかと強く思い至りました。そして高校3年生の終わりがろ政治家になろうと決意しました。さて、どうやって政治家になるか、社長からか秘書からか、医師や弁護士からか公務員からか、悩んだあげくまずは選挙で有利そうな有名大学の法学系政治学系学部を受験しよう、そう思い進学を決意しました。

一浪し、偏差値38からのスタート。早稲田大学政治経済学部を第一志望としました。第一志望は落ちたのですが、なんとか第三志望の立命館大学法学部と法政大学法学部は合格しました。悩んだあげく、京都も良さそうだと安易に考え立命館大学に入学しました。もともと筋肉ムキムキのゴリラっぽい体格だったのですが、勉強し過ぎて10キロ以上痩せました。勉強はとても楽しいものでした。とても夢中になりました。こんな楽しいものをなんで子供の頃からやっておかなかったのか、と思ったものです。

大学入学後は弁護士から政治家になろうと考え、1回生から司法試験に取り組みました。法律相談部というサークルにも入り、市民向けの無料相談会を開催しました。年間500人くらい相談に来られるサークルです。そこで部長を務めました。この時のサークル仲間が将来の仕事人脈になろうとはこの時は思いもよりませんでした。弁護士・司法書士など士業が多いので、仕事を回しあっている関係です。大学時代は常に金欠でした。親はバブルの余波で多少小金は持っておりましたが、少しずつ陰りが見えてきました。そのため夜は金閣寺の近所のスナックJUNという店でボーイとしてバイトしておりました。「ただで酒が飲める」という安易な動機で近所のスナックを一軒ずつ「雇ってください」と回って歩き、ようやく雇ってくれたのが純子ママでした。今なら高級ボトルを無理矢理にでも入れて恩返しができるのですが、このお店は今はないのが残念でなりません。バイト終わりが夜中1時でそのあと3時まで勉強し、朝から大学に行きました。授業は予習してから出るのでほとんどAを取り、3回生終了時に飛び級で大学院に進みました。そのため厳密に言うと大学は中途退学となります。大学院では民法を専攻し、楽しい研究をする日々でした。立命館は末川博先生という偉大な民法学者のお弟子さんが多数残っておられたので、民法を学ぶというのが自然な流れでした。

3 転機③彼女の神経症

楽しい大学生活でしたが、一つ困難がありました。一回生からお付き合いしていた同級生の彼女のメンタルが少しずつおかしくなっていました。大学院に入った頃には特に束縛がきつくなり、学校に行こうとすると「私と勉強とどっちが大事なの」と叫ぶ始末。これがどんどん悪化し、無理にでも学校に行こうとすると包丁や落ちていたレンガを持って追いかけられ2回ほど刺されました。住んでいたボロアパートに火をつけられたこともあります。自分では手に負えないと判断し、長野県在住の彼女の両親に直談判し、彼女の住む京都に母親と妹に引っ越して来てもらいました。その時彼女は私が一瞬でもいないと叫ぶような状態でしたので、私はほとんど彼女の家で寝泊まりする状態になっていきました。「自分の努力だけではどうにもならないこともある」と深く学んだ出来事でした。その後、彼女の父親も京都に転勤となり、彼女一家全員と同棲する奇妙な日々が2・3年続きました。週末には精神科の有名な先生のいる浜松医科大学まで彼女一家と電車で通い、数年で彼女は精神の健康を取り戻しました。互いに疲れ切っていました。そして彼女が浮気をし、26歳であっさりと別れました。後日談ですがこの彼女はその後本来の自分を取り戻し、某有名税理士法人の幹部として君臨しております。人生とはわからないものです。

司法試験は3回落ちたら辞めようと考えておりました。父の事業がバブル崩壊とともに倒産し、父は借金まで抱えてしまいました。3回落ちたし、別の道から政治家を目指そうと考え次は起業を試みました。

4 転機④起業と借金

人生一発逆転を狙い、次は起業しました。1年間完全歩合給の教材の訪問販売で金を貯め、大学受験用の塾を立ち上げました。講師には京大生を雇いました。京都の四条烏丸近辺に月家賃100万円で小さいビルを一棟借りし、今思えば無謀な起業をしました。27歳の時でした。生徒はそこそこ集めたのですが、共同経営をしていた人物が生徒の親に架空の裏口入学の話をして詐欺で逮捕され事業はわずか一年で頓挫しました。その後、事業の整理をして数百万円の借金を抱えました。警察にも呼ばれ、詐欺事件の警察側の証人にもなりました。心底疲れ、「人生に近道はない」と深く学んだ出来事でした。

5 転機⑤「商売は命がけ」

長い目で見て社会から信用されお金も稼げて選挙にも出られそうな仕事はないか、再び考えました。そこで法学系院卒者は税理士試験が一部免除になることを思い出し、まずは税理士になろうと安易に考えました。内心は「こんな税金をちよろまかすような仕事は俺の仕事じゃない」くらいに考えておりました。この期に及んで嫌な若者だったと思います。せっかく採用していただいた会計事務所ですが、本腰入れて仕事をしておりませんでした。会計事務所の給料だけでは借金は返せないため、夜は様々なバイトをこなし何とか5年で自力完済しました。30代前半は毎日“素うどん”や“なめたけご飯”を食べるような極貧な状況でしたが借金が減っていく感じは楽しかったと記憶しております。勤務先は少数精鋭の質の高い事務所でした。上場企業の連結決算や特殊法人の顧問などもこなす高級事務所でした。ここで通常の税理士業務だけにとどまらず、経営改善業務やコンサル業務などを勉強させてもらいました。2年間、京都府包括外部監査チームに入り京都府の行政を監査していたこともあります。給料は安かったのですが、修行先としては申し分ありませんでした。良い事務所拾っていただいたと思います。

仕事の方はおそらくソツなくこなしていたとは思いますが、勝手に直帰したり3か月に1回は仮病で休むなど勤務態度は良くありませんでした。そんなある日の早朝、今日も仮病で休むかと布団の中でまどろんでいた時のこと、窓の外から携帯電話で怒鳴る大工の棟梁の声が聞こえてきました。どうやら現場に来ない若い職人への説教です。「なんで来ないんだ！なめるな！商売は命がけでせい！」と。自分が怒鳴られたようでガツンとききました。私は今までただの一度も命がけで働いたことはありませんでした。やることなすこと全て腰掛け、その場のしぎで働いてきました。この一言で猛省しました。一度死ぬ気で働いてみよう。誰よりも真剣に働いてみよう。所長になったつもりでこの事務所を儲けさせてみよう。そう決意しました。

その効果はすぐに現れました。皆が手を付けられない分野にいち早く手を付け、事務所のためになる新しい分野を開拓し、事務所内でも顧問先様の評判も見違えるくらいに変わっていきました。

そしてこの仕事楽しくてしょうがなくなりました。顧問先の経営者・従業員・税務署・金融機関・取引先・地域・将来の人たちなど様々な利害関係者にとって一番より良い落としどころを模索するのが自分の役割ではないかと考えるようになりました。真剣に取り組んでみて初めてわかる面白さ。今ではこの仕事为天職ではないかと考えるようになりました。政治家ではなく、死ぬ

まで一税理士として職務を全うしようと決意しました。
 33歳で借金が完済し、働きながら税理士試験の勉強を始めました。そして3年後に最終合格し、税理士登録をしました。その後3年間お礼奉公し、顧問先を2件頂き高槻市で独立しました。

6 転機⑥独立と結婚

バツイチ3人子持ち9歳年上の女性に惚れました。それまで8歳年下の女性とお付き合いしていたのですが、惚れるということはありませんでした。惚れるということはドラマの中だけのフィクションだ、そう考えておりました。しかし、惚れたのです。ああ、こういうことか、と思いました。彼女の子供から了解を得られるまで数年待ち、平成24年に籍を入れました。独立数ヶ月前のことです。39歳でした。同時期、私の親が二人とも倒れました。宇都宮市で二人暮らしをしていたのですが、手術や入院でお金が足りなくなり、結婚資金・独立資金で貯めていた私のお金も仕送り湯水のごとく消えていきました。そこで思い切って同居することにしました。私は京都から、両親は宇都宮から、妻家族は摂津富田からそれぞれ引越し、高槻市の駅前に一軒家を借り同時に7人暮らしを始めました。そしてすぐに独立しました。半年以内に顧問先を20件以上に増やせなければ資金が底を尽きるという状況でした。どんな仕事をしてでも家族を食わせるという覚悟はありましたが、アホでないとできない所業です。今思い出すと怖い状況です。

しかし、顧問先はすぐ集まりました。なんとか本業だけで食べていけるだけの顧問数は確保できたのです。そして両親の体調もみるみる回復し、家族の絆も深まっていきました。最初はあまり口をきいてくれなかった子供たちも少しずつ心を開いてくれました。今では妻抜きでも買い物や食事にいったりする仲となりました。

7 転機⑦採用

事務所は1年後には顧問先30件、3年後には50件、5年後には80件、と順調に拡大していきました。そんなある日、大学生をしている下の子が彼女を紹介したいと言ってきました。若手カップルを食事に連れていき、いろんな話をしました。すると、彼女の父親は現役税務署職員(統括官)とのことでした。彼氏の親が税理士で自分の親が税務署、つい「自分、サラブレッドやないか!」と声を荒げてしまいました。その後彼女は新卒で不動産会社に就職するもすぐに退社し、再び私の前に現れました。将来この子に継がそうと考へ、採用しました。今までは自宅にて一人で固定費なしの超絶利益率の高い仕事をしていたのですが、ちゃんと事務所を借りて体裁を整えました。採用したその子はとても仕事ができる子で、私は止めていた営業を再開し顧問先を120件まで拡大しました。そして大学の後輩筋の人間が二人採用してほしいとのことなので採用し、質の高い良い事務所になってきたと自負しております。将来的には全員三国志の「呂布」のような猛将に育て、事務所の代表を2年に1度ジャンケンで決めることが密かな夢です。ちなみに弊事務所はコロナ前から出勤は自由、クラウドやフィンテックのような使える最新技術は全部駆使し自分の判断で自分の行動を決めるという方針をとっております。

8 興味関心について

京都在住時代から祭が好きでした。特に神輿が好きです。松尾大社や祇園祭でも神輿をかつぎ、姫路市の友人の町内神輿も毎年担いでおりました。現在住んでいる上田辺町でもご近所同士とても仲が良いので、神輿が復活できたら幸いです。しかしご高齢の方がほとんどなので難しいかも知れません。

高槻市に越してきてすぐに市民林業士という資格を取りました。高槻市の豊富な山々をなんとか活かさないか、そんな問題意識を持っております。林業復興やバイオマス発電など、そのような分野に関心を持っております。

そして宴会とサウナが好きです。コロナ禍で宴会はできないので、サウナー仲間である下の男の子とサウナに行き無言のままとのっております。

税理士会やTKC全国会という同業者組織では地域の役員をしております。金融機関との交流会を開いたり新入会員を世話したりするような役職です。コロナ支援までできるようなコンサル型の若手税理士を育成していきたいです。

ロータリークラブで何ができるのか、まだ右も左も分からないのですが、ご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。最後までご清聴ありがとうございました。

◎9/8 卓上花

- ・本日はございません。

◎ニコニコ箱報告

- ・入会記念内祝 **高木君**
- ・創業記念内祝 **高木君**
- ・先週は拙い私の履歴書を聞いていただいてありがとうございました。引き続きよろしく願い致します。

富川君

本日の合計	¥	15,000-
7/1 よりの累計	¥	385,000-

◎R 財団への寄付

河合 一人君 ¥10,000-

本日の合計	¥	10,000-
7/1 よりの累計	¥	250,000-
年次基金会員より	¥	250,000-
ポリオプラス会員より	¥	0-
一人当たり平均	\$	47.92

◎米山奨学会への寄付

本日の合計	¥	0-
7/1 よりの累計	¥	197,500-
会員より	¥	80,000-
クラブより	¥	117,500-
一人当たり平均	¥	4,202

◎青少年育成基金への寄付

本日の合計	¥	0-
7/1 よりの累計	¥	50,000-